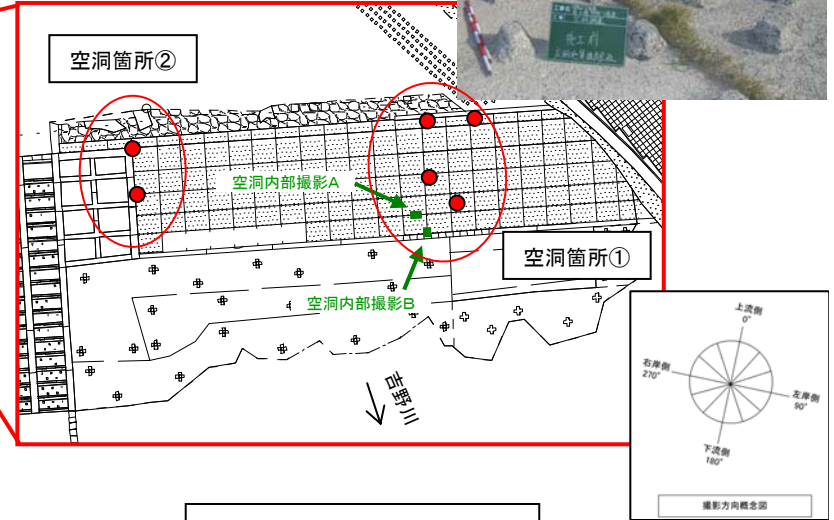
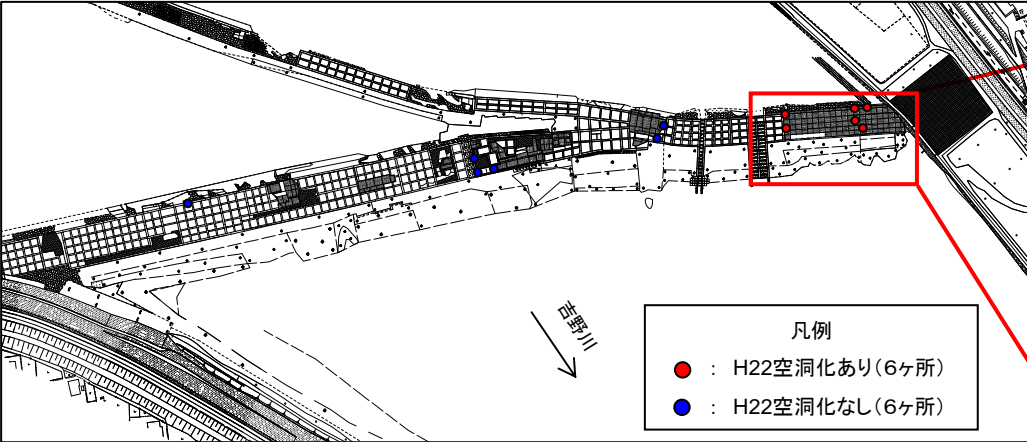


## 《別紙－2》 空洞化調査

# 空洞化調査

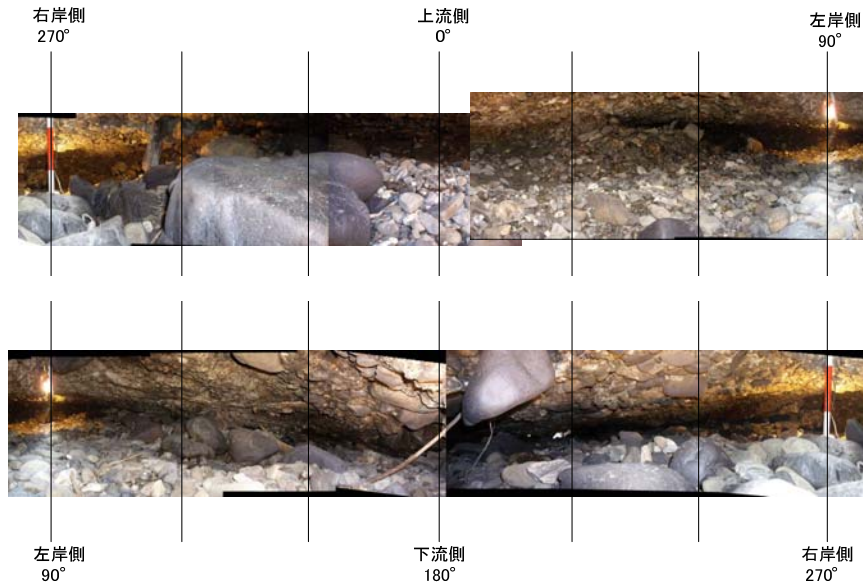
## CCDカメラ観察

CCDカメラ観察は、空洞箇所①および空洞箇所②において今年度の出水後の空洞内部状況を確認するとともに、胴木や魚道周辺のコンクリート下部の状況(空洞化の有無や漏水状況)を確認することを目的に実施しました。

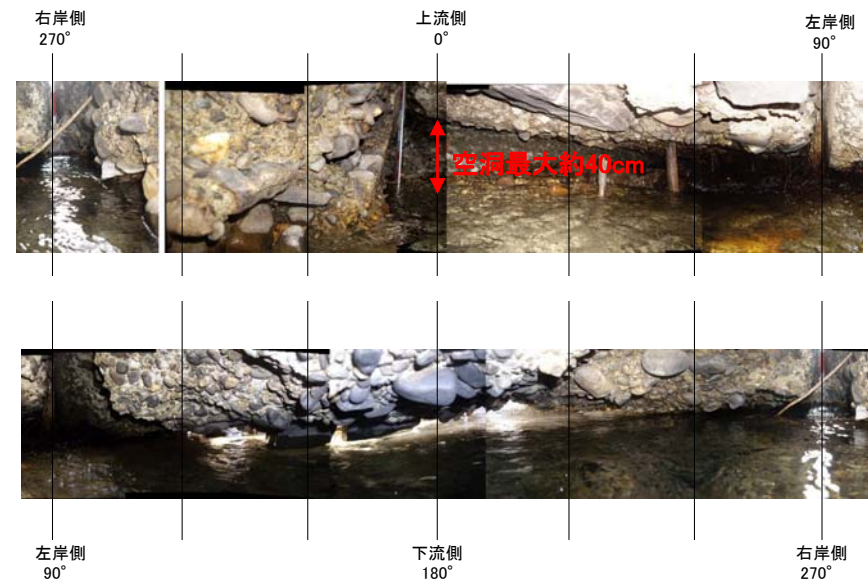


## 空洞箇所①におけるCCDカメラ観察結果

### 空洞内部撮影Aの内部状況



### 空洞内部撮影Bの内部状況

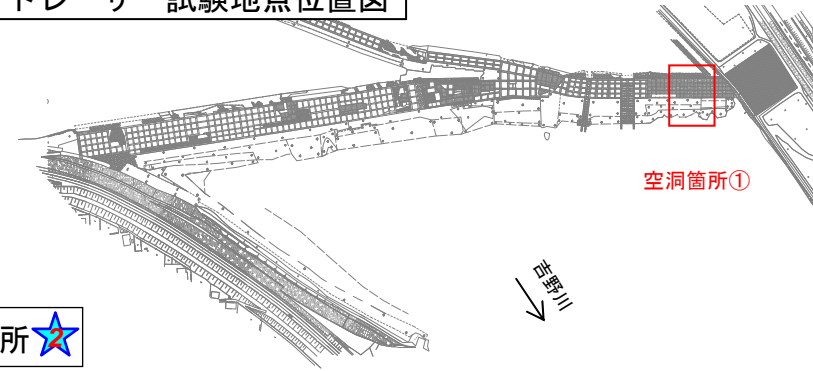


# 空洞化調査

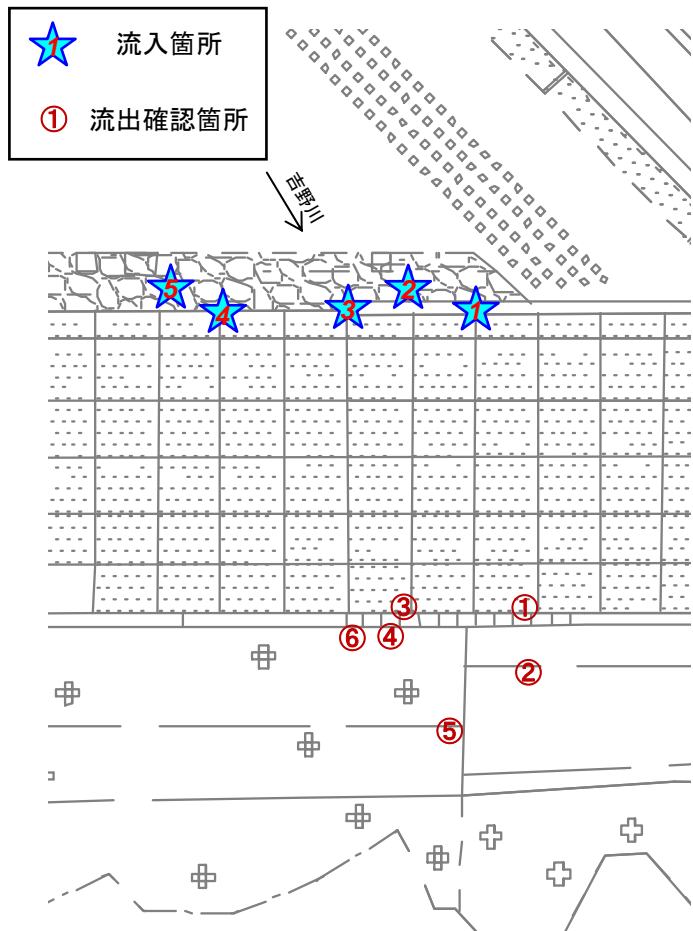
## トレーサー試験

植石コンクリート下に存在する水みちの位置を確認するため、上流の渦巻き箇所や植石コンクリートの目地が開口した箇所からトレーサー液（入浴剤により着色した食塩水）を投入し、堰下流の水が流出している箇所で電気伝導率を測定し、トレーサー液が出てくることを確認することにより水みちを把握しました。

## トレーサー試験地点位置図



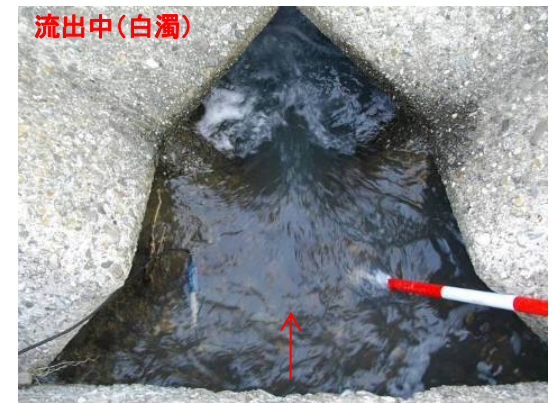
## <空洞箇所①>



## 流入箇所★

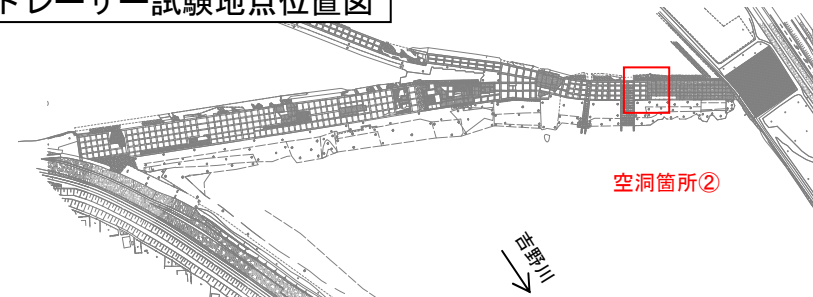


## 流出確認箇所④ 流出状況

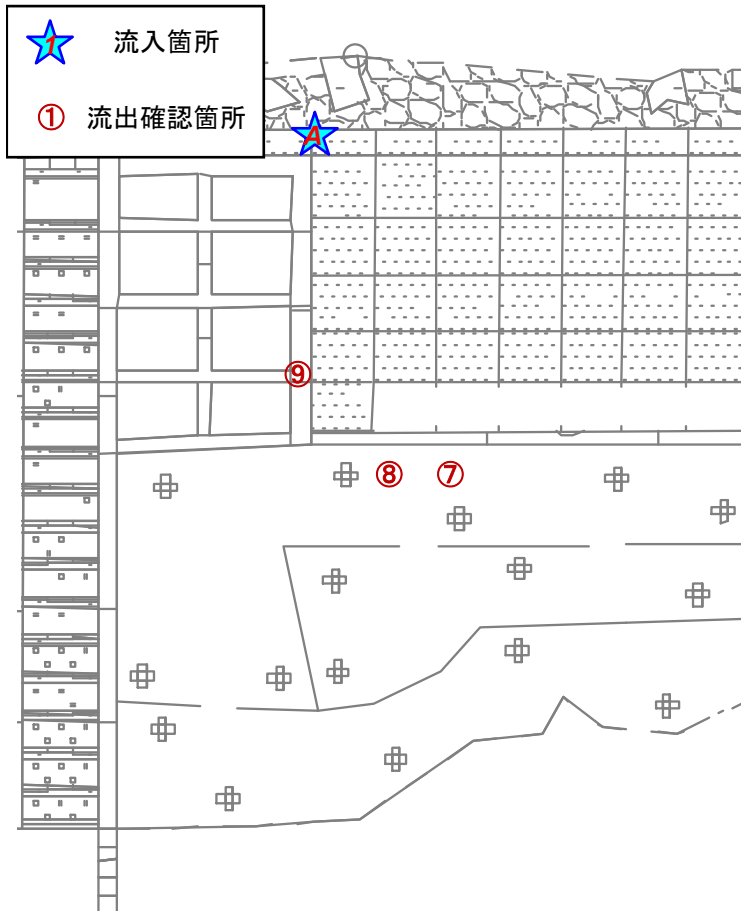


# 空洞化調査

トレーサー試験地点位置図



<空洞箇所②>



堰上流の流入箇所★



流出確認箇所⑨



流出確認箇所⑦ 流出状況

